



神山まるごと高専

2025年度

履行状況調査

対象校No. 1136

注4

学校コード G136310000014

注3

設置年度

令和

7年度

認可

計画の区分：学部の学科の設置

注1

注2

神山まるごと高等専門学校

デザイン・エンジニアリング学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人神山学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

経営管理チーム

職名・氏名

島浦舞

電話番号

050-1780-2843(内線:224)

(夜間)

-

e-mail

contact@kamiyama.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

＜デザイン・エンジニアリング学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教育研究実施組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人神山学園

(2) 大学名

神山まるとと高等専門学校

(3) 調査対象大学等の位置

〒771-3310

徳島県名西郡神山町神領字西上角175-1

及び〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字大埜地343、~~344, 345, 346-1, 346-2, 347, 348-4, 348-5~~

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(テラダ チカヒロ) 寺田 親弘 (現職就任令和4年9月8日)		
学 長	(オオクラ ミネキ) 大蔵 峰樹 (現職就任令和4年9月8日)	(イソズミ コウジ) 五十棲 浩二 (現職就任令和6年9月7日)	任期満了による交代 (7)
学 部 長			
学科長等		(イトウ ナオキ) 伊藤 直樹 (現職就任令和6年4月1日)	退任 (7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正) するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デザイン・エンジニアリング 学科 準学士(工学)	工学関係	5 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	200 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	40人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	40人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	40人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	—	1.05倍	1.05倍		
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	399人 (—) [—]	— (—) [—]	458 (—) [—]	— (—) [—]	412 (—) [—]	— (—) [—]					春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	398人 (—) [—]	— (—) [—]	458 (—) [—]	— (—) [—]	412 (—) [—]	— (—) [—]					
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	44人 (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [—]	— (—) [—]	44 (—) [—]	— (—) [—]					
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	44人 (—) [—]	— (—) [—]	42 (—) [—]	— (—) [—]	44 (—) [—]	— (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1.1		1.05		1.1						

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 転入学生は記入しないでください。**
- [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**
- 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	44 [—] (—)	— [—] (—)	42 [—] (—)	— [—] (—)	45 [—] (1)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	42 [—] (—)	— [—] (—)	40 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	41 [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
5 年次									— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	[—] (—)		[—] (—)		[—] (—)		44人 [—] (—)		84人 [—] (—)		126 [—] (1)		

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	42 人	2 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	2 人	0 人	他の教育機関への転学 (2名)
令和6年度	82 人	2 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学 (1名)
			令和6年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学 (1名)
令和7年度	126 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注) ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{2}{44} = \boxed{4.54} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{2}{84} = \boxed{2.38} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<デザイン・エンジニアリング学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	文章表現	1通		2					1			1
	国語Ⅰ	2通		2					1	1		
	国語Ⅱ ※	4後		2					1	1		
	論文作成法	5前		2					1			
	SFプロトタイピング	5後		2								
	英語Ⅰ	1通		4					1			
	英語Ⅱ	2通		4					1			
	英語Ⅲ	3通		2					1			
	英語Ⅳ ※	4通		4					1			
	英語Ⅴ ※	5前		2					1			
	現代社会A	1通		2						1		2
	現代社会B	3通		2						2		
	歴史	2通		2			1		1	1		
	倫理	3通		2						1		
	心理学 ※	4前		2								
	社会学基礎 ※	5後		2						1		
	法律 ※	5後			2							
	地理 ※	5後			2							
	基礎数学Ⅰ	1通		2					1	1		
	基礎数学Ⅱ	2通		2					1	1		
	代数幾何学	2通		2			1		1			6
	微分積分学	3通		2			1		1			
	確率統計学	3通		2			1					
	物理	1通		2			1					
	化学	1通		2			1					
	地球・自然環境	2通		2			1		1			
	解析学Ⅰ ※	4前		2			1					1
	解析学Ⅱ ※	4後		2			1					
	線形代数学 ※	5前		2			1					
	離散数学 ※	4前		2			1					
	情報数学 ※	5前		2			1					
	認知科学 ※	4通		4			1					
	保健体育Ⅰ	1通		2						1		
	保健体育Ⅱ	2通		2						1		
	保健体育Ⅲ	3通		2			1			1		
	表現基礎	2		2					1			
	グラフィックデザイン	1通		2					1			
	写真・映像デザイン	3通		2			1		1			
	小計（39科目）	－		82	4							
	ITブートキャンプ	1前		1			1					7
	情報工学基礎	1通		2			1					
	基礎プログラミングⅠ	1通		3			1					
	基礎プログラミングⅡ	2通		2			1					
	プログラミング演習Ⅰ	1通		3			1					
	プログラミング演習Ⅱ	2通		4			1					
	応用プログラミング	3通		2						1		
	WebプログラミングⅠ	3通		4						1		
	WebプログラミングⅡ	4前		2						1		
	アルゴリズム	3通		2						1		
	電気電子工学基礎	2通		2			1					7
	IoTシステム	3通		2			1					
	コンピュータアーキテクチャ	4前		2						1		
	電子回路 ※	4後			2		1					
	統計データ分析 ※	4後			2		1					
	人工知能 ※	4後		2			1					
	ネットワーク・インターネット	5前		2			1					
	コンピュータセキュリティ ※	5前		2			1					
	データ処理 ※	5後		2								

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	文章表現	1通	○	2						1		1
	国語Ⅰ	2通	○	2						1	1	
	国語Ⅱ ※	4後	○	2						1	1	
	論文作成法	5前		2						1		
	SFプロトタイピング	5後		2								
	英語Ⅰ	1通	○	4						1		
	英語Ⅱ	2通	○	4						1		
	英語Ⅲ	3通	○	2						1		
	英語Ⅳ ※	4通	○	4						1		
	英語Ⅴ ※	5前	○	2						1		
	現代社会A	1通	○	2						1		2
	現代社会B	3通	○	2						1	1	
	歴史	2通		2				1		2		
	倫理	3通	○	2						1		
	心理学 ※	4前		2								
	社会学基礎 ※	5後		2							1	
	法律 ※	5後			2							
	地理 ※	5後			2							
	基礎数学Ⅰ	1通	○	2						1	1	
	基礎数学Ⅱ	2通	○	2						1	1	
	代数幾何学	2通	○	2				1		1		1
	微分積分学	3通	○	2				1		1		
	確率統計学	3通	○	2				1				
	物理	1通	○	2								
	化学	1通		2				1				
	地球・自然環境	2通		2				1		1		
	解析学Ⅰ ※	4前	○	2					1			1
	解析学Ⅱ ※	4後	○	2					1			
	線形代数学 ※	5前	○	2					1			
	離散数学 ※	4前	○	2					1			
	情報数学 ※	5前	○	2					1			
	認知科学 ※	4通		4				1				
	保健体育Ⅰ	1通		2							1	
	保健体育Ⅱ	2通		2							1	
	保健体育Ⅲ	3通		2					1		1	
	表現基礎	1通	○	2						1		
	グラフィックデザイン	1通	○	2						1		
	写真・映像デザイン	3通		2					1		1	
	小計（39科目）	－		82	4							
	ITブートキャンプ	1前		1			1					1
	情報工学基礎	1通	○	2				1				
	基礎プログラミングⅠ	1通	○	3							1	
	基礎プログラミングⅡ	2通	○	2				1				
	プログラミング演習Ⅰ	1通	○	3				1				
	プログラミング演習Ⅱ	2通	○	4							1	
	応用プログラミング	3通	○	2				1				
	WebプログラミングⅠ	3通	○	4							1	
	WebプログラミングⅡ	4前	○	2							1	
	アルゴリズム	3通	○	2							1	
	電気電子工学基礎	2通		2					1			1
	IoTシステム	3通		2					1			
	コンピュータアーキテクチャ	4前	○	2							1	
	電子回路 ※	4後			2				1			
	統計データ分析 ※	4後			2				1			
	人工知能 ※	4後	○	2					1			
	ネットワーク・インターネット	5前	○	2					1			
	コンピュータセキュリティ ※	5前	○	2					1			
	データ処理 ※	5後		2								

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	文章表現	1通	○	2					1			1
	国語Ⅰ	2通	○	2					1	1		
	国語Ⅱ ※	4後	○	2					1	1		
	論文作成法	5前		2					1			
	SFプロトタイピング ※	5後		2								
	英語Ⅰ	1通	○	4					1			
	英語Ⅱ	2通	○	4					1			
	英語Ⅲ	3通	○	2					1			
	英語Ⅳ ※	4通	○	4					1			
	英語Ⅴ ※	5前	○	2					1			
	現代社会A	1通	○	2								1
	現代社会B	3通	○	2						1		
	歴史	2通		2			1	1				
	倫理	3通	○	2						1		
	心理学 ※	4前		2								
	社会学基礎 ※	5後		2						1		
	法律 ※	5後			2							
	地理 ※	5後			2							
	基礎数学Ⅰ	1通	○	2					1	1		1
	基礎数学Ⅱ	2通	○	2					1	1		
	代数幾何学	2通	○	2				1	1			
	微分積分学	3通	○	2				1	1			
	確率統計学	3通	○	2				1				
	物理	1通	○	2								
	化学	1通		2			1					
	地球・自然環境	2通		2			1	1				
	解析学Ⅰ ※	4前	○	2				1				1
	解析学Ⅱ ※	4後	○	2				1				
	線形代数学 ※	5前	○	2				1				
	離散数学 ※	4前	○	2				1				
	情報数学 ※	5前	○	2				1				
	認知科学 ※	4通		4			1					
	保健体育Ⅰ	1通		2						1		
	保健体育Ⅱ	2通		2						1		
	保健体育Ⅲ	3通		2				1		1		
専門科目	表現基礎	1通	○	2					1			1
	グラフィックデザイン	1通	○	2					1			
	写真・映像デザイン	3通		2				1	1			
	小計（39科目）	—		82	4							
	ITブートキャンプ	1前		1							1	1
	情報工学基礎	1通	○	2				1				
	基礎プログラミングⅠ	1通	○	3						1		
	基礎プログラミングⅡ	2通	○	2						1		
	プログラミング演習Ⅰ	1通	○	3						1		
	プログラミング演習Ⅱ	2通	○	4						1		
	応用プログラミング	3通	○	2						1		
	WebプログラミングⅠ	3通	○	4						1		
	WebプログラミングⅡ	4前	○	2						1		1
	アルゴリズム	3通	○	2						1		
	電気電子工学基礎	2通		2				1				
	IoTシステム	3通		2				1				
	コンピュータアーキテクチャ	4前	○	2						1		
	電子回路 ※	4後			2			1				
	統計データ分析 ※	4後			2			1				
	人工知能 ※	4後	○	2				1				
	ネットワーク・インターネット	5前	○	2				1				
	コンピュータセキュリティ ※	5前	○	2				1				
	データ処理 ※	5後		2								1
	エディトリアルデザイン	2前		1				1				
	Webデザイン	2通	○	2				1				
	UI/UXデザイン	2通	○	2				1				
	3DCG&CADデザイン	3前		1				1				
	建築デザイン	3後		1				1				
	プロダクトデザイン ※	4後	○	2								
	ゲームエンジン ※	5前			2							

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	文章表現	1通	2					1			1
	国語Ⅰ	2通	2					1	1		
	国語Ⅱ ※	4後	2					1	1		
	論文作成法	5前	2					1			
	SFプロトタイピング ※	5後	2								
	英語Ⅰ	1通	4					1			
	英語Ⅱ	2通	4					1			
	英語Ⅲ	3通	2					1			
	英語Ⅳ ※	4通	4					1			
	英語Ⅴ ※	5前	2					1			
	現代社会A	1通	2						1		2
	現代社会B	3通	2						2		
	歴史	2通	2				1	1	1		
	倫理	3通	2						1		
	心理学 ※	4前	2								
	社会学基礎 ※	5後	2						1		
	法律 ※	5後		2							
	地理 ※	5後		2							
	基礎数学Ⅰ	1通	2					1	1		6
	基礎数学Ⅱ	2通	2					1	1		
	代数幾何学	2通	2				1	1			
	微分積分学	3通	2				1	1			
	確率統計学	3通	2				1				
	物理	1通	2			1					
	化学	1通	2			1					
	地球・自然環境	2通	2			1	1				
	解析学Ⅰ ※	4前	2				1				1
	解析学Ⅱ ※	4後	2				1				
	線形代数学 ※	5前	2				1				
	離散数学 ※	4前	2				1				
	情報数学 ※	5前	2				1				
	認知科学 ※	4通	4			1					
	保健体育Ⅰ	1通	2						1		
	保健体育Ⅱ	2通	2						1		
	保健体育Ⅲ	3通	2				1		1		
専門科目	表現基礎	1通	2					1			7
	グラフィックデザイン	1通	2					1			
	写真・映像デザイン	3通	2			1		1			
	小計（39科目）	—	82	4							
	ITブートキャンプ	1前	1								7
	情報工学基礎	1通	2				1				
	基礎プログラミングⅠ	1通	3				1				
	基礎プログラミングⅡ	2通	2				1				
	プログラミング演習Ⅰ	1通	3				1				
	プログラミング演習Ⅱ	2通	4				1				
	応用プログラミング	3通	2						1		
	WebプログラミングⅠ	3通	4							1	
	WebプログラミングⅡ	4前	2							1	7
	アルゴリズム	3通	2							1	
	電気電子工学基礎	2通	2					1			
	IoTシステム	3通	2					1			
	コンピュータアーキテクチャ	4前	2						1		
	電子回路 ※	4後		2				1			
	統計データ分析 ※	4後		2				1			
	人工知能 ※	4後	2					1			
	ネットワーク・インターネット	5前	2					1			
	コンピュータセキュリティ ※	5前	2					1			
	データ処理 ※	5後	2								7
	エディトリアルデザイン	2前	1				1				
	Webデザイン	2通	2				1				
	UI/UXデザイン	2通	2				1				
	3DCG&CADデザイン	3前	1					1			
	建築デザイン	3後	1					1			
	プロダクトデザイン ※	4後	2								

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・特になし。

【令和6年度】

- ・令和6年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- ・令和6年度より「助教1」の退任により「現代社会A」を「基幹教員以外の教員1」に変更
- ・令和6年度より「助教1」の退任により「現代社会B」を「基幹教員以外の教員1」に変更
- ・「法律」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員3」を「基幹教員以外の教員2」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「地理」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員5」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「物理」について開講クラス数の見直しにより「教授1」「基幹教員以外の教員6」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「写真・映像デザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」「講師1」に変更
- ・「ITフートキャンプ」について令和6年度より「教授1」退任ならびに申請時の誤りにより「助教1」「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・令和6年度より「情報工学基礎」について「教授1」退任により「准教授1」に変更
- ・令和6年度より「基礎プログラミングⅠ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
- ・令和6年度より「基礎プログラミングⅡ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
- ・令和6年度より「プログラミング演習Ⅰ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
- ・令和6年度より「プログラミング演習Ⅱ」について「教授1」退任により「助教1」に変更
- ・「データ処理」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員7」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「エディトリアルデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
- ・「Webデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
- ・「UI/UXデザイン」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
- ・「プロダクトデザイン」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員8」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「ゲームエンジン」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員9」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「デザイナー研究」について「教授1」就任辞退により「准教授1」に変更
- ・「食農ワークショップ」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員11」を「基幹教員以外の教員1」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「循環型プロダクトワークショップ」について開講クラス数の見直しにより「基幹教員以外の教員12・13」を「基幹教員以外の教員2」に変更。シラバスなど授業内容への影響はなし。
- ・「卒業研究／制作」について「教授1」の就任辞退「教授1」の退任により「教授1」「准教授4」に変更

【令和7年度】

- ・令和7年度より「基幹教員以外の教員1」の退任により「現代社会A」を「講師1」に変更
- ・令和7年度より「基幹教員以外の教員1」の退任により「現代社会B」を「講師1」「助教1」に変更
- ・令和7年度より「基幹教員以外の教員1」の退任により「歴史」を「准教授1」「講師2」に変更
- ・令和7年度より「倫理」の担当を「講師」の就任により「助教1」から「講師1」に変更
- ・令和7年度より「情報工学基礎」の担当を「教授」の就任により「助教1」から「教授1」に変更
- ・令和7年度より「基礎プログラミングⅡ」の担当を「教授」の就任により「助教1」から「教授1」に変更
- ・令和7年度より「プログラミング演習Ⅱ」の担当を「教授」の就任により「助教1」から「教授1」に変更
- ・令和7年度より「応用プログラミング」の担当を「教授」の就任により「助教1」から「教授1」に変更
- ・令和7年度より「エディトリアルデザイン」の担当を1名追加し「准教授1」「講師1」に変更

- (注)・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
69 科目	16 科目	科目	85 科目	69 科目 []	16 科目 []	科目 []	85 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
校 地 等	校 舎 敷 地	12,485㎡ 12483㎡	0㎡	0㎡	12,485㎡ 12483㎡	錯誤（7）		
	そ の 他	11,440㎡	0㎡	0㎡	11,440㎡			
	合 計	23,925㎡ 23923㎡	0㎡	0㎡	23,925㎡ 23923㎡	錯誤（7）		
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		3,224.66㎡ 3,388.69㎡	0㎡	0㎡	3,224.66㎡ 3,388.69㎡			
		(3,388.69㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(3,388.69㎡)	錯誤（7）		
(3)教室・教員研究室		教 室	14室	教員研究室	11			
(4)	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
		冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	点	
		デザインエンジニアリング学科	4,488 [286] (4,488 [286])	480 [78] (480 [78])	35 [3] (35 [3])	5 [2] (5 [2])	9 (9)	()
		計	4,488 [286] (4,488 [286])	480 [78] (480 [78])	35 [3] (35 [3])	5 [2] (5 [2])	9 (9)	()
(5)	スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設			
		726.00㎡		0㎡	0㎡			
(6)	経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	20,572千円 20,000千円	20,000千円	2,000千円
		共同研究費等	4,000千円 3,000千円	3,000千円	設備購入費	289,128千円 280,622千円	0千円	0千円
		学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、寄附金をもって維持する。					

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	神 山 ま る ご と 高 等 専 門 学 校										0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
デザイン ・エンジニアリング学科	年 5	人 40	年次人 -	人 200	準学士(工学)	倍 1.05	倍 1.05	年度 -	年度 令和5	徳島県名西郡神山町神領字西上角175-1 徳島県名西郡神山町神領字大基地343			
学校全体	5	40	-	200	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
- 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- 「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画
認 可 時 (令和4年)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行遵守事項すること。また、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成するという高等専門学校の目的に照らし、開設時から充実した教育活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	【認可】 遵守事項 教職員全体会議を令和5年4月より毎週開催し、設置の趣旨・目的等に沿って設置計画を確実に履行するように運営している。 教員においては、授業担当者会議を令和5年10月より原則毎月開催し、学生の具体的な状況を踏まえた教育履行計画に改善するほか、より充実した教育活動の実現や授業内容及び方法の改善を図るためのFD・SD研修を定期的に行ってきた。また、授業においてはバディ制度を採用し、担当教員以外の目で客観的な助言をしあう体制を構築している。 加えて、令和6年3月には、年間計画に対する組織課題を明らかにしながら、当該設置の趣旨・目的等に沿った教育活動を行うための教職員全体研修を集中的に実施し、設置計画の確実な履行を目指している。	履行済 設置の趣旨・目的等に示された人材の養成を目指し、設置計画の履行ならびに教育課程を実施していく計画である。FD・SD委員会主導のもと、組織的に教育活動や授業内容及び方法の改善を図るための研修会もしくは研究会を原則毎月実施し、教職員の教育活動向上に務め、授業内容及び方法などの改善点については教育課程に反映し実施する。 また、教職員全体研修については年1回を目安として実施し、年間計画に対する実施状況を共有しながら、より組織的な教育水準の向上を目指す。
認 可 時 (令和4年)	審査意見への対応を記載した書類(6月)の審査意見2への助言事項 対応において、1年次に配当された「ITブートキャンプ」による簡単なWebプログラミングの講義を通じ、プログラミングに関する一定の知識を修得させることが示されたが、学生自身の入学時におけるプログラミングに関する基礎知識の修得状況にかかわらず、全ての学生がディプロマ・ポリシーで掲げる「情報工学に関する知識と技能」を着実に習得することができるよう、「ITブートキャンプ」の履修や入学前教育等を通じて、プログラミングに関する知識等が十分ではない学生に対しても初期教育の段階で適切なフォローを行うなど、学生の効果的な学びに配慮することが望ましい。	【認可】 助言事項 入学した学生全員に対し、4月上旬の4日間で計30時間の「ITブートキャンプ」の講義を実施した。プログラミング技術をはじめ情報工学全般を広く浅く教授することにより、プログラミング技術に対する親しみを涵養するとともに、本学で学ぶ情報工学分野全体のオリエンテーションを実施した。1年次に6単位配当した本校のプログラミングに関する授業は、座学的で一方的な教授では無く、実際にプログラミングを行う演習を主体とし、全員の理解度を確認しながら進行しており、事前知識が十分ではない学生に対し、個別にフォローを行いながら授業を実施している。	履行済 1年次においては令和5年度以降同様に、学生の理解状況を把握しながら、場合によっては授業内容を改善するなど、学生の効果的な学びに配慮しながら授業を展開していく。また、学生の理解度に応じて個別に補習を行うなど、適切なフォローを実施する予定である。 また、2年次においてもプログラミング関係で6単位の科目を配当しており、多くの授業時間数を有効に活用した適切なフォローを行っていく予定である。

(注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<デザイン・エンジニアリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	(令和5年度) - 文科省による「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」の補助金交付を受けて、技術室内に「起業家工房」を設置することとした。新たにレーザー加工機やCNCルーター等の多様な機器を導入し、課外活動におけるものづくりの更なる促進を目指す。 (令和6年度) - 校地について自転車置き場を改修した(令和7年4月文部科学省へ届出済み)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD・SD委員会、倫理委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD委員会は校長・副事務部長・教務主事・担当教員など計6名で構成し、毎週定例会議を行った。主に授業評価方法の改善、共同授業の促進、教員同士のフィードバック促進について審議を行い、各FD・SD研修の企画に繋げた。

倫理委員会は、副校長（または教務主事）、研究統括責任者、副校長もしくは教務主事から推薦された教員スタッフ若干名、その他、委員会が必要と認める者で構成。案件があるごとに開催を行った。

c 委員会の審議事項等

FD・SD委員会では、授業評価手法の改善、共同授業やバディ制度の運用方針、FD・SD研修内容、教員間の相互フィードバック体制構築、学生アンケートの活用方針などを中心に審議した。

倫理委員会は、前年度までの研究活動における情報取扱い等の倫理的課題の検討実績を踏まえ、目的の見直しを優先して取り組んだ。

② 実施状況

a 実施内容

- ・デザイン・エンジニアリング学科会議を2024年6月より開始し、全13回実施。
- ・教職員合宿を2回実施。卒業生像の再確認、起業家精神教育の現場実装、教育活動とValuesの接続について議論。
- ・コーチング研修：承認・傾聴・問いかけの実践を通して、教員間および学生支援に活かす基礎を習得。
- ・FD研修（全4回）は形成的評価・ルーブリック・フィードバック・生成AI活用をテーマとし、実践型で展開。
- ・ピアレビュー：教職員による相互授業見学とフィードバックを全員参加で実施。
- ・メンタル・特性ケア研修：学生の身体・精神的症状への理解を深め、自律神経・栄養視点からの支援手法を学んだ。
- ・起業家精神評価ミーティング：教育の柱である起業家精神を評価するための項目・基準・方法を作成した。

b 実施方法

- ・デザイン・エンジニアリング学科会議は6月10日、7月29日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月9日、12月23日、1月20日、2月3日、2月17日、3月3日、3月17日に実施。
- ・教職員合宿は9月12日および2月26日～27日に対面で実施。
- ・コーチング研修は10月9日に実施。
- ・FD研修（形成的評価・ルーブリック等）は、2月26日、3月4日、3月5日、3月7日に実施。
- ・ピアレビューは1月20日～24日にかけて実施。
- ・メンタル・特性ケア研修は2月28日に実施。
- ・起業家精神評価ミーティングは3月4日、10日、18日、27日に開催（以降継続中）。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

各研修・合宿・ミーティングは原則全教員対象で実施。特にFD研修や合宿は参加率が高く、継続的な対話と改善文化の定着に寄与。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

前年度に比べて研修量が増え、定期的な方針も議論が進み、授業改善の取り組みへとつながっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施済み。前期末・後期末の年2回実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

匿名化したアンケート結果を教職員間で共有し、教員と学生で対話を行う授業改善WSを実施。次年度の改善目標を設定した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は情報工学分野における技術者の育成を基として、社会の情勢に左右されることなく自ら課題発見を行い、身に付けた技術力で社会が求めるサービスや製品といった「モノ」を作り出し、アントレプレナーシップを通じてその「モノ」を使って社会に変化を与えられるような事業や産業、新たな取り組みといった「コト」を起こす力を修得した人材の育成を目的としている。初年度の活動も本学の定める3ポリシーに則りながら、少人数であることの特徴を生かして、学生一人ひとりの学習状況を踏まえた改善を行い、教育研究活動を行ってきた。

今後も教育研究活動等の状況を自ら点検・評価することで、現状を正確に把握・認識するとともに、達成状況を評価し、評価結果に基づく改善の推進と教育研究水準の向上を図ることを目的として、開設年度より自己点検・評価を実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和6年度活動の報告書を令和7年9月末に公表予定

b 公表方法

ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和11年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の評価を受審予定

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ ・ 公表後 3 ヶ月以降]

c 公表方法 [・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

神山まると高等専門学校 FD・SD委員会規程

(設置)

第1条 神山まると高等専門学校（以下、「本学」という。）の目的を達成するため、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するFD・SD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 この規程においてFDとは、教員の教育内容及び方法を改善し、本学の教員としての能力と資質向上を図るための組織的な取り組みを言う。

2 SDとは、事務職員を含める全ての教職員を対象に必要な知識及び技能を習得させ、その能力と資質向上を図るための組織的な取り組みを言う。

(審議事項)

第3条 委員会では、次の各号に関わる事項を審議する。

(1) FD

- ア 企画・立案に関すること
- イ 教員の資質向上のための研修会、講演会、学生授業評価アンケート、相互授業参観等の実施、分析及び検証に関すること
- ウ 新任教員の資質向上に関すること
- エ 教育内容及び方法の改善に関すること
- オ 学外で開催される研修会等への参加に関すること
- カ その他FDの推進に関すること

(1) SD

- ア 企画・立案に関すること
- イ 教職員の職務能力及び管理運営能力向上のための講演会、研修会等の実施、分析及び検証に関すること
- ウ 新任職員の資質向上に関すること
- エ 学校運営上での危機管理に関すること
- オ いじめやハラスメントの対策に関すること
- カ 学外で開催される研修会等への参加に関すること
- キ その他SDの推進に関すること

(組織)

第4条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 教務主事

(2) 事務部長

(3) その他校長が必要と認めたもの

2 前項の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

3 前項の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員が議長の職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、その意見を求

めることができる。

(報告)

第7条 委員長は、委員会で審議された事項を総括整理し、校長に報告するものとする。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、各課の協力を得て、教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附則

1. この学則は、2023年4月1日から施行する。